

のことでした。

これらの課題に対し、私たち親にできること、それは、わが子の人生の後半を支援する組織・人に伝達する情報をまとめたサポートブックを残しておくこと、そして親の医療、介護、死亡後の事務、財産分与等将来過剰な負担になると考えられるイベントに対しては、早い段階で軽減策を検討しておくこと、加えて、子どもの健康のために生活習慣病の予防と対策を講じておくことです。

私もサポートブックは持っていますが、正直、自分の子はまだ若いから・・・という思いと記入する項目が多くて整理しきれず、書き進めることができていません。でも、藤原氏の「全部埋める必要はなく、伝えたい項目を記入すれば良い。」「医療のところは大切。」との言葉に「なるほど!」と思いました。「持っているだけではダメ、活用して子どもの支援を考えることが大事。そして、年に1回、日を決めて更新し、比較できるようにしておきましょう。」とのことでした。自分自身の身の始末を考え、子どもの幸せのために何を準備するかを考える・・・わが子の壮年期にするべきことを具体的に学んだ勉強会でした。

### 事業所さん紹介(13)

#### 社会福祉法人 ワークスユニオン

- ・生活介護事業所「和(なごみ)」
- ・生活介護事業所「匠(たくみ)」
- ・就労継続支援B型事業所「ワークス集(つどい)」  
※ワークス集・施設外就労「ワークス歩(あゆむ)」
- ・就労継続支援B型事業所「ワークス翔(かける)」  
※ワークス翔・施設外就労「ワークス輝(ひかる)」

#### ◆事業所の紹介・特長

ワークスユニオン日中事業所の全体的な特徴として利用者さんは過去に企業就労(一般就労)を何度か経験をした方々、または企業就労に向けてチャレンジしたことのある方々がほとんどです。そのため、就Bだけでなく、生活介護の日課も作業が中心です。全事業所で約80名になりますが、ひとつの事業所の人数は、8名~20名と小集団であることが特徴です。平均年齢は40代後半、最高齢の方は70歳です。

- ・生活介護事業所「和(なごみ)」

作業は、ボルトや金属加工品の組み立てが中心で、働くことを中心にしながら、講師を招いてのストレッチ、ダンス、書道、FBM(ファシリテーションボールメソッド)、アートセラピー、その他、図書館活動、地域清掃、創作活動などを行なっています。

- ・生活介護事業所「匠(たくみ)」

比較的高年齢の利用者さんが多く、平均年齢も50代後半です。作業に取り組むことは1日のリズムが整うだけでなく、やりがいや地域とのつながりを感じることができます。作業以外にも、体力維持のためストレッチ、ダンス、FBM(ファシリテーションボールメソッド)、書道、創作活動などを行なっています。

- ・就労継続支援B型事業所「ワークス集(つどい)」

作業内容は、ボルトナットの組み立て、金属ブラシの計量、カーテンレールの組み立てを行なっています。部材の準備や出来上がったものの梱包など、工程のはじめから終わりまでを利用者さんと職員とが一緒に行なっています。

- ・ワークス集・施設外就労「ワークス歩(あゆむ)」

施設外就労先からハンガーのウレタンかけやチップ付け、タッパーの組み立てなどを請け負っています。

- ・就労継続支援B型事業所「ワークス翔(かける)」

1グループ3~5名の少人数で、地域のマンション等の共有部分を清掃する「清掃班」、グループホームの共有部分を清掃する「ハウスクリーニング班」、金属ブラシの計量や袋詰め、化粧箱のフィルム巻きなどを請け負う「軽作業班」の3つのグループに分かれて作業を行なっています。

- ・ワークス翔・施設外就労「ワークス輝(ひかる)」

施設外就労先から紙袋の検品、カタログの封入、梱包などの作業を請け負っています。

#### 【作業風景】



- ・グループホーム「ユニオン」
- ・短期入所事業「灯(あかり)」
- ・居宅介護事業 移動支援事業 ホームヘルプ・ガイドヘルプ「ワークスユニオン家族支援」

また、【暮らす】については、地域の自立生活の試みに失敗した人たちやその踏み出しに不安をもつ人たち、それでもなお自分なりに生きてみたいと思いつ人たちのために繁華な町の中にグループホームと自身体験の場を作りました。